

# かいぎ るく 会 議 録

かいぎめいしやう 会議名称	だい きさいわいくくみんかいぎ だい かいせんもんぶかい ひと こうつうあんぜんぶかい 第6期幸区区民会議 第8回専門部会 (人にやさしい交通安全部会)
にち じ 日時	へいせい ねん がつ にち もく 平成29年6月29日(木) 18:30~20:00
かい じやう 会場	さいわいくやくしよ かいだい かいぎしつ 幸区役所 4階第4会議室
しゅつせきしや 出席者	<p>●区民会議委員 (50音順)</p> <p>あべのりひろいん いいじただおいん おのはるこいん かねだ いいん 阿部法弘委員、飯島忠男委員、小野晴子委員、金田さとみ委員、</p> <p>けおぼさーと らつあみちゃんいん さかぐちいさおいん しぶたに た み えいん たかはしみ さこいん けんバサート ラツアミちゃん委員、坂口功委員、渋谷多美枝委員、高橋美三子委員、</p> <p>はしもとふみおいん みうらただがずいん 橋本文夫委員、三浦忠一委員</p> <p>●事務局</p> <p>さいわいくやくしよ たむらふくくちやう 幸区役所 田村副区長</p> <p>さいわいくやくしよ すいしんぶきかくか きしかちやう よしおかちやう ほ さ やまぐちたんとうかりちやう 幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、山口担当係長、</p> <p>うしわかしゆにん どうろこうえんせん たーせいびか しんにしかちやうほ さ あだちしよくいん 牛若主任、道路公園センター整備課 新西課長補佐、安達職員</p> <p>(かぶ) しゃかいくうかんけんきゆうじよ なかじまし やなぎざわし (株) 社会空間研究所 中島氏、柳澤氏</p>
けつせきしや 欠席者	あおきはるひこいん 青木晴彦委員
ぼうちやうしや 傍聴者	なし
はいふしりやう 配布資料	<p>●議事次第</p> <p>●資料 1 「人にやさしい交通安全部会」調査審議スケジュールについて</p> <p>●資料 2 小中学生に対する交通ルール・マナークイズの実施結果及び概要</p> <p>ほうこく 報告</p> <p>●資料 2-別紙1 小学生の交通ルール・マナークイズ実施結果の表・グラフ</p> <p>●資料 2-別紙2 中学生の交通ルール・マナークイズ概要報告の表・グラフ</p> <p>●資料 3 ヒヤリ・ハット箇所(南河原地区)への現地調査結果</p> <p>●資料 4 「ヒヤリ・ハット箇所への現地調査」実施候補(案)</p> <p>●資料 4-別紙1 ヒヤリ・ハットを感じた箇所プロット一覧</p> <p>●資料 4-別紙2 ヒヤリ・ハットを感じた箇所プロット位置図</p> <p>●資料 5 調査結果を踏まえた取組の方向性について(案)</p> <p>●参考資料 1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて</p> <p>●参考資料 2 第7回専門部会(人にやさしい交通安全部会)会議録</p> <p>●参考資料 3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿</p>
ぎ だい 議題	<p>(1) 調査審議スケジュールについて</p> <p>(2) 小中学生に対する交通ルール・マナークイズの実施結果及び概要報告について</p> <p>(3) ヒヤリ・ハット箇所(南河原地区)への現地調査の実施結果について</p> <p>(4) ヒヤリ・ハット箇所(御幸・日吉地区)への現地調査の実施について</p> <p>(5) 調査結果を踏まえた取組の方向性について</p>

けつていじこう  
決定事項

- (1) 調査審議スケジュールについて  
・資料1により、今後のスケジュールを確認・共有した。
- (2) 小中学生に対する交通ルール・マナークイズの実施結果及び概要報告について  
・資料2及び資料2別紙1・2により、小中学生に対する交通ルール・マナークイズの実施結果について確認・共有し、検証を行った。
- (3) ヒヤリ・ハット箇所(南河原地区)への現地調査の実施結果について  
・資料3及び現地調査に参加した委員からの報告により、ヒヤリ・ハット箇所(南河原地区)への調査結果について確認・共有し、検証を行った。
- (4) ヒヤリ・ハット箇所(御幸・日吉地区)への現地調査の実施について  
・資料4及び資料4別紙1・2により、各調査結果でのヒヤリ・ハット箇所及び事故発生箇所の確認を行い、御幸地区及び日吉地区での現地調査先を6箇所ずつ選定した。  
・御幸地区での調査地は、遠藤町交差点付近、「介護老人保健施設千の風・川崎」付近、下平間交差点付近、下平間小交差点付近、塚越踏切付近、塚越交番交差点付近の6箇所。  
・日吉地区での調査地は、鹿島田踏切付近、新川崎駅前(ニューデイズ新川崎店)の坂道、鹿島田跨線橋西側交差点から日吉小学校前バス停付近までの坂道、ゆめみがさきどうぶつこうえんいりぐちこうさてんふきん、おぐらばすていふきん、おぐらりつきょうこうさてんふきん、夢見ヶ崎動物公園入口交差点付近、「小倉」バス停付近、小倉陸橋交差点付近の6箇所。  
・資料4により、調査日時と出席委員の確認を行った。  
御幸地区は7月3日(月)13時15分～17時、阿部部会長・小野副部会長・飯島委員・渋谷委員・高橋委員・橋本委員  
日吉地区は7月14日(金)13時15分～17時、小野副部会長・ケオパサート委員・渋谷委員・高橋委員・橋本委員
- (5) 調査結果を踏まえた取組の方向性について  
・資料5により、調査結果を踏まえた取組の方向性について確認・共有した。

かいぎ  
会議の内容  
および  
おも  
主な発言

- (1) 調査審議スケジュールについて  
●事務局から資料1について説明した。  
○資料1により、今後のスケジュールを確認・共有した。
- (2) 小中学生に対する交通ルール・マナークイズの実施結果及び概要報告について  
●事務局から資料2及び資料2別紙1・2について説明した。  
○資料2及び資料2別紙1・2により交通ルール・マナークイズの実施結果について確認・共有し、検証を行った。
- 【主な意見】  
・歩道上の自転車走行について正解が少ないのが目立った。  
・小学生について、道路上の遊びの正解率が低い。

- 中学生について、道路標識についての正解率が低い。心理上の問題もあると思う。今度現地調査に向かう日吉交番の五叉路でも多く見られる。
- 小学生の設問「歩道を広げて歩かない」について、正解率はいいが、実際には話したり遊びながら並んで歩いている様子を見ることがあるので、クイズ結果と現状を踏まえた検討も必要かもしれない。
- 中学生の設問「高齢者に対する横断補助」について、正解率が低いが、これは努力義務なので違反とは違うのではないかと。設問によって勘違いしているのではないかと。
- 小中学生に対するクイズだったが、高校生も自転車ですごいスピードを出して走っていることがあり危ない。
- 小学生に対する問題について、否定形で聞いている問3、問6、問7の正解率が低い。それとは別に、問10については知らない子どもが多いのではないかと。
- 機会があれば、子ども達が本当に間違えて捉えているのか、設問を分かりやすく変えるなどして検証してほしい。
- 各小学校の比較があるが、地域による正解率の差異がある所が気になる。地域差や道路事情の差があるのか。  
(事務局) 道路上で遊ぶことについては、設問に対する理解度の違いが影響していると考えられるのと、小学校周辺には重点整備地域となっているところもあり、道路が狭くて遊ぶ場がないことなどから、もしかしたら地域性があるのかもしれない。

### (3) ヒヤリ・ハット箇所(南河原地区)への現地調査の実施結果について

●事務局から資料3について説明した。

○資料3及び現地調査に参加した委員からの報告により、ヒヤリ・ハット箇所(南河原地区)への調査結果について確認・共有し、検証を行った。

#### 【主な意見】

- 河原町団地の辺り(調査地①)は道路が狭い上に段差も多く、自転車も人も通りにくい道路だと思った。調査地②の私道に木が一本立っているところは、私道から車が通る道路に飛び出てきたら、車などと接触してしまうと感じた。
- 国道一号線(調査地④)のところは、自転車が走れる、渡れるところがないので、どこで渡っていいのかわからない。交通量の多いところなので、道路が自転車では怖い。ソリッドスクエアのところ(調査地⑥)は自転車道が表示されて良いと思ったが、逆走する人がいると聞いてびっくりした。
- 狭い道路に矢羽根をつける予定があるが(調査地①)、それによって車がゆっくり走ってくれるだろうか。一方通行などに出来ればよいが。
- 調査地②、私道の家の方から連絡があった。元々はもっと通りづらかったのですが、今のような問題はあまり表面化していなかったが、反対側がセットバックしたことにより通りやすくなってしまった。自分達では難しい面があるが、市が策を講じてく

れるとありがたいと言っていた。

- 人がきちんとルールを守っているか守っていないかといった箇所があった。河原町団地のところ（調査地①）では自転車は車道を走るので車の信号を守るべきなのに、渡るときだけ歩行者の信号に従っていたりする。色々改善されていくと良いなと感じた。
- ソリッドスクエアのところ（調査地⑥）の歩行者信号は短くなった。スクランブルではないのに斜め横断してしまう。

#### (4) ヒヤリ・ハット箇所（御幸・日吉地区）への現地調査の実施について

- 事務局から資料4及び資料4別紙1・2について説明した。
- 資料4及び資料4別紙1・2により、各調査結果でのヒヤリ・ハット箇所及び事故発生箇所の確認を行い、御幸地区及び日吉地区での現地調査先を6箇所ずつ選定した。
- 御幸地区での調査地は、遠藤町交差点付近、「介護老人保健施設千の風・川崎」付近、しもひらまこうさてんふきん、しもひらましようこうさてんふきん、つかごしふみきりふきん、つかごしこうばんこうさてんふきん、下平間交差点付近、下平間小交差点付近、塚越踏切付近、塚越交番交差点付近の6箇所。
- 日吉地区での調査地は、鹿島田踏切付近、新川崎駅前（ニューデイズ新川崎店）の坂道、鹿島田跨線橋西側交差点から日吉小学校前バス停付近までの坂道、ゆめみがざきどうぶつこうえんいりぐちこうさてんふきん、おぐら、ぼすていふきん、おぐらりつきようこうさてんふきん、夢見ヶ崎動物公園入口交差点付近、「小倉」バス停付近、小倉陸橋交差点付近の6箇所。
- 資料4により、調査日時と出席委員の確認を行った。  
御幸地区は7月3日（月）13時15分～17時、阿部部長・小野副部長・飯島委員・渋谷委員・高橋委員・橋本委員  
日吉地区は7月14日（金）13時15分～17時、小野副部長・ケオパサート委員・渋谷委員・高橋委員・橋本委員

#### (5) 調査結果を踏まえた取組の方向性について

- 事務局より資料5について説明した。
- 資料5により、調査結果を踏まえた取組の方向性について確認・共有した。

##### 【主な意見】

- 各学校の校長から、通学路の何処が危ないのかなどの情報が欲しいという話があった。学校にフィードバックしたり、入学時の説明会で情報提供するなどの方法もあると思う。

いじょう  
以上